

子どもと保育
実践研究会
2026年度

冬季セミナー

日 時

2027年 1 月 9 日 (土)
10:30 ~ 17:00 (10:00 受付開始)

会 場

聖心女子大学
宮代ホール (3号館1階) 他
(東京都渋谷区広尾4-3-1)



プログラム

10:30 開会挨拶・趣旨説明

実践提案&シンポジウム

保育が動き出すとき

～1人ひとりの声を聴きながら紡いだ

プロセスから考える～

実践提案 大脇未来・黒木麻衣子 (坂之上第2保育園)

パネリスト 佐伯 胖 (東京大学・青山学院大学名誉教授)

コーディネーター 三谷大紀 (関東学院大学)
佐伯絵美 (合同会社子どもベース)

お昼休憩

★分科会A

子どもと大人の“今”動いている心が見える記録とは
～記録と計画の軌跡が新たな保育を生み出し
園の資源となっていく試み～

話題提供 伊井 香奈美 (ゆうゆうのもり幼保園)

コーディネーター 木戸啓絵 (東海大学)
木元健太郎 (幸ヶ谷幼稚園)
澤井陽平 (新大船幼稚園)

★分科会B

子どもをみつめる眼差し

～「分かったつもり」を超えて、

子どもの世界を共にオモシロがる～

話題提供 樺沢朋恵 (昭島幼稚園)

コーディネーター 若月芳浩 (玉川大学)
相馬靖明 (Independent ECEC Researcher)
西井宏之 (白梅学園大学附属白梅幼稚園)

★分科会C

子どものワクワクから

保護者、まちと繋がる保育を考える

話題提供 大村あおば・田上智子 (ちいさなたね保育園)

コーディネーター 木村創 (認定向山こども園)
松山洋平 (和泉短期大学)
吉野孝洋 (すぎの森幼稚園)

休 憩

鼎談

新要領・指針の検討の方向性から

これからの保育を考える

大豆生田啓友 (玉川大学)
渡邊英則 (港北幼稚園・認定こども園ゆうゆうのもり幼保園)
高嶋景子 (聖心女子大学)



※駐車・駐輪スペースはありません。公共交通機関をご利用ください。
※昼食時に飲食スペースの利用が可能です (販売はありません)

参加費

会場・オンライン
ともに

会 員 ￥5,000
会員外 ￥7,000
学 生 ￥1,500

定 員

会場・オンライン (Zoom)
各250名
(先着順)

申込方法

会場に参加される方



<https://kodomotohoiku2026winter.peatix.com>



オンラインに参加される方

※分科会の時間帯は、分科会Cをオンライン配信いたします (オンラインでのグループディスカッションは行われません)

<https://kodomotohoiku2026winter-online.peatix.com>

※申込サイトでお申込みできない場合は、
メールでご連絡ください。
※ご入金後キャンセルの場合は返金できません。

申込開始 10月1日 (木) 10:00
申込締切 1月5日 (火) 13:00

要 旨

実践提案&シンポジウム

保育が動き出すとき

～1人ひとりの声を聴きながら紡いだ

プロセスから考える～

実践提案 大脇未来・黒木麻衣子（坂之上第2保育園）

パネリスト 佐伯 胖（東京大学・青山学院大学名誉教授）

コーディネーター 三谷大紀（関東学院大学）

佐伯絵美（合同会社子どもベース）

「より子どもの声を大切にしながら保育をしたい」…1人の保育者の想いが、次第に周りの人の想いと重なり、結果的に園全体の保育のあり方を大きく動かしていったプロセスをご紹介します。そしてその“変化を支えたもの”を、みなさんと一緒に探っていきたいと思います。

分科会A

子どもと大人の“今”動いている心が見える

記録とは

～記録と計画の軌跡が新たな保育を生み出し

園の資源となっていく試み～

話題提供 伊井 香奈美（ゆうゆうのもり保育園）

コーディネーター 木戸啓絵（東海大学）

木元健太郎（幸ヶ谷幼稚園）

澤井陽平（新大船幼稚園）

今回、実践提案をいただくゆうゆうのもり保育園（特に未満児）では、日々の子どもの「声」や姿を丁寧に捉えながら、それを記録し、新たな保育を生み出していく計画へとつなげていくことを意識しながら、実践を積み重ねられています。また、その記録が「記録者のもの」になるだけではなく、保育者同士、さらには保護者や実習生など、子どもを取り巻く多様な「大人」がそこに参加し、対話が生まれ、巻き込まれていくプロセスも見られています。

今回は、可能であれば参加者の皆様にも日頃の記録をお持ち寄りいただき、記録についての対話を深めていききたいと思います。（お手元に記録をご用意いただけない場合もご参加いただけますが、ご協力いただける方は、ぜひお持ちください。）

本分科会が、日々何気なく行っている「記録」を改めて見つめ直し、その意味や可能性について考える時間となれば幸いです。

鼎談

新要領・指針の検討の方向性からこれからの保育を考える

大豆生田啓友（玉川大学）

渡邊英則（港北幼稚園・認定こども園ゆうゆうのもり保育園）

高嶋景子（聖心女子大学）

新要領・指針の改訂作業が進められています。幼児教育・保育の一体的な検討、0歳から18歳までの学びの連続性、遊びの深まり、環境の構成と再構成、架け橋の充実などのキーワードがあげられています。今回のセミナーであげられた実践事例を手がかりにその視点を深めていければと思います。

分科会B

子どもをみつめる眼差し

～「分かったつもり」を超えて、

子どもの世界を共にオモシロがる～

話題提供 樺沢朋恵（昭島幼稚園）

コーディネーター 若月芳浩（玉川大学）

相馬靖明（Independent ECEC Researcher）

西井宏之（白梅学園大学附属白梅幼稚園）

私たちは目の前の子どもをどのような眼差しで見つめているでしょうか。一般的な発達の目安に子どもを当てはめるのではなく、「この子はどんな世界を見つめているのだろう」と目を向けたとき、大人の予想を超えるその子ならではの「オモシロサ」が見えてきます。子どもを「分かったつもり」にならず、その子が見ている世界に大人が出会い、共に驚き、面白がること。問われているのは、子どもへの「眼差し」そのものかもしれません。

本分科会では、支援を要する子どもとの関わりにおいて、子どもの世界に出合っていく実践をご提示いただきます。子どもの中にすでに生まれているものに出会い、それが遊びや生活の中で広がっていくために、保育者には何ができるのでしょうか。共にオモシロがり、育ち合う関係のあり方について考えていきましょう。

分科会C

子どものワクワクから保護者、

まちと繋がる保育を考える

話題提供 大村あおば・田上智子（ちいさなたね保育園）

コーディネーター 木村創（認定向山こども園）

松山洋平（和泉短期大学）

吉野孝洋（すぎの森幼稚園）

ちいさなたね保育園の保育理念は、「まちが保育園」です。「子どもと共に」、「保護者と共に」、「まちと共に」保育を創っていくことを目指しています。子どもの興味・関心をもとにした散歩や行事などを通して保護者やまち（地域）と繋がっていく過程を話題提供していただきます。

その過程では何が生み出されているのか、保護者やまちと繋がることの意味について、皆さんとともに考えてみたいと思います。